

**御机集落「集落営農ビジョン」**  
**(人材確保型支援 規模拡大・発展型支援)**

※該当する支援メニューに○を記入

作成日：令和 3 年 6 月 22 日

修正日： 年 月 日

|  |          |   |                                    |
|--|----------|---|------------------------------------|
| 市町村名   | 江府町      | 組織名   | 農事組合法人御机                           |
| 1 地区の範囲<br>鳥取県日野郡江府町御机   |          |   |                                    |
| 2 地区の概要  |          |   |                                    |
| 水田面積   | 35.2ha   | 主な水田栽培作目  | 水稻・そば<br>農家数 38 戸                  |
| 認定農業者数   | 1 経営体    | 人・農地プランの中心となる経営体数 0 経営体<br>※令和3年度中に1経営体予定(農事組合法人御机) |                                    |
| 3 組織の概要  |          |   |                                    |
| 設立時期<br>(規約等の制定日)  | 令和3年4月9日 | 経営面積  | -ha<br>(R3見込み6.13ha)<br>構成農家数 31 戸 |
| 組織形態 (該当形態に○を記入)      ・ 共同利用型 <u>作業受託型</u> <u>協業経営型</u>  |          |   |                                    |
| 役員の数・年齢    9人 (平均年齢 61 歳)  |          |   |                                    |
| オペレーターの数・年齢    5人 (平均年齢 56 歳)  |          |   |                                    |
| その他集落営農活動に参画している人数・年齢    38 人 (平均年齢 68 歳)  |          |   |                                    |
| 4 集落営農に対する基本方針   |          |   |                                    |
| <b>【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】</b>  |          |   |                                    |
| <p>(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標<br/>         御机集落内には各個々の農家が営農を行っているが、従事者の高齢化で耕作できない農地も増加している。そこで今後は集落地内の担い手を「農事組合法人御机」とし、圃場整備済みの水田を中心にこの担い手へ集積することを目標とする。また計画的で円滑な農地集積を図るため、地域での話し合いを元に農地中間管理事業を活用し、担い手へのスムーズな集積を実現する。</p>  |          |   |                                    |
| <p>(2) 水田の作付計画 (水稻以外の作物を含む)、活用方針・具体策<br/>         水田は主に水稻・そばをメインとして作付けする。水稻の品種については、コシヒカリの作付を進め、役員を中心に組合員の協力のもと田植え・収穫時期を調整しながら、農繁期の作業ピークが偏らないように計画を行う。また、そばについては信濃1号の作付を行い、以前より取組みのある畑地での栽培も継続しておこなうことにより、独自に地区内に刈取機械や乾燥調整施設を整備し、栽培～乾燥・調製体制を確立することでブランド化も視野に入れる。今後は経営の状況を踏まえながら、地域内の休耕水田を活用した野菜・果樹栽培にも取り組めるかどうか協議を進めていく。</p> |          |   |                                    |

(3) 農業用機械施設の効率利用

田植機及びコンバインによる効率的な作業が行えるように、団地ごとに品種を統一して、機械移動が少なくすむような体系を計画する。また集落内では新たな機械導入をしないように合意形成を図り、機械の集約化を推進する。

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針

【人材確保】

高齢化や担い手不足解消に向け、集落の全員が農業に関われるような「関わりしろ」を作り、農作業に携わる機会を増やしていくことで、普段農業に関わっていない集落の人財も巻き込み、世代交代がスムーズにできるように取り組む。

【後継者育成】

組員全体を対象とした法人経営や農作業効率化の研修を行い、意識共有及び技術向上を目指す。また退職予定者には特に声掛けを行い、農事組合法人御机の人材確保に努める。

(5) 経営多角化の方針・具体策

地域の特性上、ほ場整備された水田がまとまって団地化されていることから作物は水稲が適している。

また、高標高立地の水田と畑地を活かすために、転作の柱として、そばの作付けも実施し、水稲部門とそば部門の両立経営を目指しながら、そばの刈取、乾燥・調製受託に特化した法人経営を行う。なお、収穫されたそばは、乾燥調製した後にJA出荷するほか、独自に製麺加工を委託し、法人のオリジナル商品として道の駅やネットショップで販売したり、ふるさと納税の返礼品として活用する。（\*既に昨年度までの「共生の里」事業の取組みで「御机ソバ」として、ブランド化されており、今後は法人が主体となり、取組みの継続・発展を目指す）

今後は経営状況を踏まえながら、水稲が作付できない畑や長年転作田として使用されていたほ場などについては野菜・果樹の作付が実施できるか協議を行っていく。

【人材確保型支援は記入必須】

5 人材確保のための取組方針

| 【項目】           |      | 【実施年度】 |     |     |
|----------------|------|--------|-----|-----|
|                |      | ○年度    | ○年度 | ○年度 |
| 人材<br>育成<br>研修 | 実務研修 |        |     |     |
|                | 免許取得 |        |     |     |
|                | その他  |        |     |     |
| 集落営農活動への参画     |      |        |     |     |

【人材確保型支援（うち畦畔管理省力化支援）は記入必須】

6 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（=水張）面積： ha

| 年数  | 内容 | 面積<br>(ha) | 金額<br>(円) | 実施年度 |
|-----|----|------------|-----------|------|
| 1年目 |    |            |           |      |
| 2年目 |    |            |           |      |
| 3年目 |    |            |           |      |

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

(機械利用対象畦畔面積 ha、本田(=水張)面積 ha)

| 機械施設名 | 規格能力 | 台数等 | 金額(円) | 導入予定年月 |
|-------|------|-----|-------|--------|
|       |      |     |       |        |
|       |      |     |       |        |
|       |      |     |       |        |

(3) 畦畔管理用作業の状況

| 内容                  | 現状<br>(年度) | 事業実施後<br>(年度) |
|---------------------|------------|---------------|
| 取組対象(予定)面積<br>(ha)  |            |               |
| 取組対象面積当たり年間<br>作業時間 |            |               |

注1) 取組対象圃場について記載すること。

2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

【規模拡大・発展型支援は記入必須】

7 集積(経営、機械の共同利用及び作業受託)の目標

| 【項目】          |           | 【現状】      | 【目標】 令和7年度 |
|---------------|-----------|-----------|------------|
| 農地<br>の<br>集積 | 集積面積 A    | 0 ha      | 21.432 ha  |
|               | 対象水田面積 B  | 35.226 ha | 35.226 ha  |
|               | 集積率 A/B   | 0%        | 60.84%     |
|               | 地区外集積面積 C | 0 ha      | 0 ha       |

|            |       |            |
|------------|-------|------------|
| 経営面積 A + C | 0 h a | 21.432 h a |
| 経営の多角化への取組 | —     | —          |

注1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

8 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

| 機械施設名         | 規格能力              | 台数等 | 金額<br>(円)  | 導入予定年月 | 本事業<br>による<br>導入機<br>械に○ |
|---------------|-------------------|-----|------------|--------|--------------------------|
| ・そば乾燥調製施設     | 120m <sup>2</sup> | 1棟  | 9,997,900  | R3.9   | ○                        |
| ・汎用コンバイン(そば刈) | ERH450E-G         | 1台  | 16,775,550 | R4.9   | ○                        |
| ・そば乾燥調製機械     |                   | 一式  |            |        |                          |
| ・そば用冷蔵庫       | ARS-11000D        | 1台  |            |        |                          |
|               |                   |     |            |        |                          |

9 添付資料

- 人材確保型支援は研修計画一覧(参考様式)、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料(総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等)を添付すること。
- 規模拡大・発展型支援は集積状況一覧(別表1、2)、機械の利用計画(別紙)、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料(総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等)を添付すること。

注1) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。

2) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧(別表1、2)により作成すること。